募集要項

募集対象	・地域の朗読活動の指導者を目指す方。 ・読み語り、朗読活動のブラッシュアップを望む方。 ・すべての講座（全12回）に出席が可能な方。
定　　員	30名（予定）
受講料	**受講料**（全12回分）：**81,000円**（税込） ・交通、宿泊、昼食等は各自でご手配、ご負担いただきます。 ・受講料の支払方法は受講決定時にご案内します。 ・主催者の判断で講座を中止する場合など、状況に応じて受講料の一部返金やカリキュラムの変更を行なう場合がございます。
応募締め切り	2027年1月24日（日）23:59
申込方法	**ウェブフォームからのお申し込み** ※お申し込みはウェブフォームのみで承っております。 FAXや郵送では受付しておりません。予めご了承ください。 お申し込み フォームはこちらから▶ https://www.mojikatsuji.or.jp/kouza/moshikomi-kouza.html
受講可否	**・申込書の記載内容をもとに選考いたします。** ・2027年2月下旬ごろに応募者全員にお知らせいたします。

講座について

会　　場	**【4月～2月 講座会場 】国立オリンピック記念青少年総合センター**　センター棟（予定） ≪交通アクセス≫　小田急線「参宮橋」駅　徒歩7分 アクセス▶ **【2028年3月4日(土)　朗読発表会 会場】** 東京都内の会場で調整中
時　　間	13:30～16：00　（全12回） ★第12回のみ12：00～16：30（予定）
テキスト	・テキストは『山根基世の朗読読本 2』（評論社刊）3,800円（税抜）を使用します。 ※書店もしくはインターネット書籍販売サービスでも購入できます。
講座への準備	・受講者には、講義中に一度は声を出していただきます。必ず予習をしてきてください。 ・講義中にICレコーダーを使用いたしますので、各自ご用意ください。（スマートフォンの録音機能でも構いません）
修了について	・全講座へ出席し、評価などの条件が満たされた場合に、修了証書を授与します。 ・修了後、原則として仕事の斡旋などは行いません。

公益財団法人　文字・活字文化推進機構

文字・活字文化推進機構は、2007年10月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」と「文字・活字文化振興法」を具現化する団体として発足しました。会長は、前衆議院議員・河村建夫、理事長は読売新聞グループ本社代表取締役社長・山口寿一です。

この機構の目的は、文字・活字文化の振興を通じて、日本語を深く理解し、「読む・書く・考える・伝える」という総合的な言葉の力を持った人づくりをめざし、創造的な国を実現することです。「2010年国民読書年」、学校司書の法制化などは、当機構が提案したものです。

問い合わせ	**文字・活字文化推進機構　「山根基世の朗読指導者養成講座」　事務局** 〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-2-30 **TEL**：03-3511-7305（平日10：00～17：00） **HP**：https://www.mojikatsuji.or.jp/kouza/top-kouza.html **E-mail**：roudoku@mojikatsuji.or.jp 山根基世の朗読指導者養成講座

2027年度
第11期

山根基世の
朗読指導者養成講座

絵本から古典文学まで、

幅広い題材から

日本語の特性をふまえた読み方を身につけます。

朗読上級者、指導者を目指す人、

「言葉の力で未来を拓く」

そんな子どもを育てたいという

志のある方に向けた講座です。

撮影：水島洋子

朗読で
子どもの
ことばを
育てましょう。

【主催】公益財団法人 文字・活字文化推進機構

【後援】公益社団法人 全国公民館連合会
公益社団法人 日本図書館協会
公益社団法人 全国学校図書館協議会
NPO法人 絵本文化推進協会

朗読のもつ可能性

朗読は、父母や祖父母の読み語りに始まる伝承文化であり、今日もなお、子どもの人格形成に大きな役割を果たしています。

いろいろな人生や過ぎ去った歴史、希望や悲しみを詰めこんだことばの世界に、朗読者の音声や感情が加味されることで、聴き手の五感を刺激し、新たな想像の世界を創りだします。これが朗読の魅力と可能性であり、人びとを読書に向かわせる動機ともなりましょう。

朗読指導者に求められる資質と能力

朗読の指導者として様々な場面で活躍
図書館 保育所 幼稚園 学校 医療機関
公民館 児童館 企業 等

▶ 聞き手の五感を刺激し、本の魅力を伝える

この講座の目指すもの

朗読の技術習得はもちろん、グループ学習の中で意見をまとめ、的確な指示・助言を行なえる指導者の資質も養います。また、自分や他の受講生の朗読を録音し、繰り返し聞くことで、基礎的で自然な読み方が判断できる耳を鍛えます。

講師

山根基世（やまねもとよ） 氏 / アナウンサー

1948年山口県生まれ。1971年NHKに入局。主婦や働く女性を対象とした番組、美術番組、旅番組、ニュース、ナレーション多数を担当。2005年、女性として初のアナウンス室長に。2007年、NHK退職後は、朗読を手掛かりとして「子どものことば」を育てることを目的に、地域作りと言葉教育を組み合わせた独自の活動を続けている。また、テレビ朝日「徹子の部屋」、日本テレビ「世界一受けたい授業」出演をはじめTBS「半沢直樹」「ルーズヴェルトゲーム」ナレーションなど、民放の番組も担当。2015年に朗読指導者養成講座を開講、2018年から3年間「声の力を学ぶ連続講座」を主宰。NHK「映像の世紀バタフライエフェクト」のナレーションも担当した。

橋本恵子（はしもとけいこ）氏 / 朗読指導者養成講座 第1期修了生。ことのはスクエア代表

静岡第一テレビにアナウンサーとして入社し「ズームイン!!朝!」、報道記者兼キャスターとして「ニュースプラスワンしずおか」などを担当。アナウンス室長を経て50歳を機に独立し、あらゆる世代の「ことば磨き」に取り組んでいる。静岡県の文化プログラムでは、小中学生向け朗読ワークショップ「旅する朗読」を6年連続実施。

福島絵美（ふくしまえみ）氏 / 朗読指導者養成講座 第8期修了生。RKKアナウンス講座講師

元熊本放送アナウンサー、ＴＢＳ朝の情報番組や、ＲＫＫニュースのキャスター、アナウンス部長を務める。熊本県子どもの読書活動推進会議委員として推進計画策定に携わり、現在県読書ボランティア養成講座講師。熊本市教委の「確かな日本語力を育む」事業講師として小学校で朗読会を開催するなど、子どもたちに読書の楽しさを伝えている。

講座スケジュール案

	日程 13:30〜16:00	課目・内容
第1回	2027年 4月 10日 (土)	**オリエンテーション・自己紹介朗読の基本の「キ」** 朗読をてがかりに地域の人々をつなぎ、みんなで子どもを育てる仕組みをつくるためには、どんなことが大切か、この講座の目指すことをお話しします。一年一緒に学ぶ仲間に全員、自己紹介。そして、朗読とは何か、基本の「キ」をお伝えします。
第2回	5月 8日 (土) 講師　福島絵美	**絵本で学ぶ朗読の基本 「あたし、うそついちゃった」「うしかたとやまんば」** 誰にでも身に覚えのある幼い子の嘘。朗読の基本と同時に、悩む子に向きあう大人の態度も学べます。「うしかたとやまんば」は、山口県に伝わる民話。方言の語り口も楽しみましょう。この回から5つの班に分かれ、各班の「リーダー」を毎回交替で、全員に務めていただきます。リーダーシップを身につけるためのトレーニングです。
第3回	6月 5日 (土) 講師　橋本恵子	**絵本で学ぶ朗読の基本 「めっきらもっきらどおんどん」** オノマトペが楽しい、子どもたちに人気の絵本。どれだけ自分を解放できるか、おもいっきり遊んでみましょう。登場するお化けたちも個性的、それぞれの個性を演じ分ける工夫がいります。その中で、過剰にならない自然な表現とはどういうものか探ります。
第4回	7月 3日 (土)	**深く感じつつ、抑制した表現を 「くまとやまねこ」** 最愛の小鳥を喪って深い悲しみの中にいるくまが主人公。くまの悲しみに共感できなければ読めない絵本です。朗読で一番大切なのは「感じる心」です。しかし、その感情におぼれてしまうと、聞き手には伝わりません。「伝える」という意識を保つことで、客観的になることができます。
第5回	8月 7日 (土)	**日本語の調べを学ぶ 「枕草子」「平家物語」「君死にたまふことなかれ」「十三夜」** 古典を朗読するには、現代文とはまるで違う方法が求められます。古典や文語体の文章を、日本人の身体にしみ込んだ5･7 のリズム･調べを大切に、味わい深く読む技術を学びます。
第6回	9月 11日 (土)	**全体の組み立てを踏まえて朗読する 「よだかの星」（構成表作成）** 宮沢賢治の「よだかの星」は、よく知られた名作です。しかし賢治の描くスケールの大きな世界を立体的に表現するには、全体の組み立てをしっかり読み取ることが大切です。予め構成表を作っておくと朗読の助けになります。構成表の作り方なども含め、複雑な構成の作品を朗読するための方法をお伝えします。
第7回	10月 2日 (土)	**話し言葉のイントネーションで読む 「よだかの星」（耳を鍛える）** 「よだかの星」は、百人百様の解釈のできる深い内容のお話しですが、子どもにも分かる易しい言葉で書かれています。「話すように読む」朗読の基本を身につけるのにふさわしいテキストです。他の人の朗読や自分の録音を聞いて、イントネーションの違いを聞き分けられる「耳」を鍛えましょう。
第8回	11月 6日 (土)	**文体にふさわしい声を探る 「山椒魚」** 井伏鱒二の「山椒魚」は、昭和初めの男言葉で書かれた独特の文体です。声を作るのではなく、自分の中にある、どの声がこの世界を表現するのにふさわしいかを探りながら、緩急･間･会話表現などの朗読技術を身につけていきます。
第9回	12月 4日 (土)	**意味内容と呼吸を合わせる 「山椒魚」** 井伏鱒二の文体は、時に長い一文が混じり、読むには難しい文章です。一つの意味の固まりは、ひとつの息で読まなければ意味が伝わりません。意味内容と呼吸を合わせることがいかに大切か、この文章から学ぶことができます。
第10回	2028年 1月 8日 (土)	**朗読指導者としての基本を確認・発表会に向けて個別指導** これまでに学んで来たことを再確認。話すように読むイントネーション、聞き分ける耳、指導者としてのリーダーシップなど、今後の自分の課題を確認しましょう。後半は、3月の朗読発表会に向けて、ご自分で選んだ作品の朗読を個別指導します。
第11回	2月 5日 (土)	**朗読発表会に備えて** 3月の最終回では、一年間に学んで来た朗読の基本、さまざまな技術などを駆使して、全員に、一人3分間の朗読を発表していただきます。それに備えて、是非読みたいという作品を予め選んで、下読みしておいて下さい。個別指導いたします。
第12回	3月 4日 (土) ※12:00〜16:30（予定）	**朗読発表会総合評価と修了証の授与** 今後の地域での活動に備えて、実際にお客様をお招きしての朗読発表を行います。その講評の後、「朗読で子どもの言葉を育てる志」を共有する朗読者として、みなさんに修了証書をお渡しします。

予備日　2027年11月13日(土)、2028年2月19日(土)

※荒天等の影響により、上記の日程で開催できなかった場合、予備日で調整させていただく可能性がございます。
恐れ入りますが、ご承知おきいただければ幸いです。
なお、予備日に開催する場合の講師につきましては、決まり次第ご案内いたします。

※全12回のうち、5月は福島講師、6月は橋本講師が講義を担当いたします。（山根講師は同席いたします）